

# <環境省より 須賀川市民の皆様へお知らせ>

須賀川市立小中一貫教育校稲田学園から中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送を行います。

須賀川市立小中一貫教育校稲田学園から、概ね530㎡の除去土壌等を、12月中旬から概ね1カ月かけて中間貯蔵施設へ輸送する予定です(天候や道路交通等の状況により、輸送期間が変更されることがあります)。

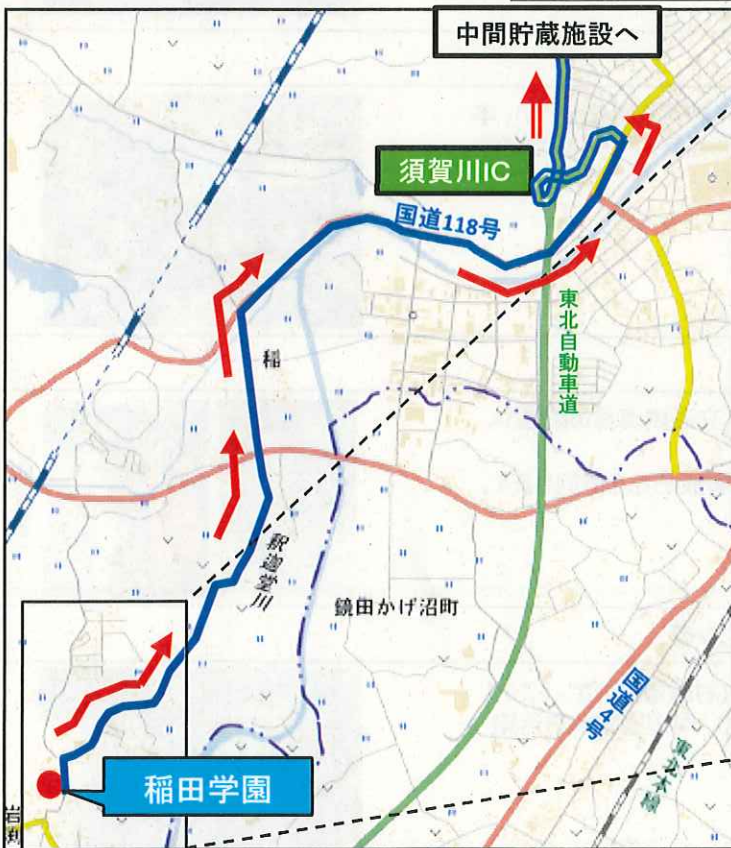
## 【1日の作業の流れ】

- ・輸送時間・・・8:30～17:00 (仮置場等の中での作業時間・・・7:00～17:00)
  - ・大型車両(10tダンプトラック)4～14台程度で、1日1回輸送します。
- ※天候や道路交通等の状況、又は作業の進捗状況により変更の可能性があります。  
 ※原則として、日曜日及び年末年始期間は輸送を実施しません。

輸送する車両には、除去土壌等を輸送していることを明示する表示を行います。また輸送車両が中間貯蔵施設から退出する前には車両の表面を測定(スクリーニング)し、基準値以上であれば洗浄等を行うことにより、周辺道路等の汚染の防止を徹底します。このほか、輸送に当たっての主な安全対策については裏面を御参照下さい。

## 輸送ルート

——輸送ルート(一般道)    ——輸送ルート(高速道路)



※「地理院地図」(国土地理院)をもとに環境省作成

## 輸送車両

環境省  
除去土壌等搬  
運車



環境省  
中間貯蔵輸送車両 ペースカー  
規制速度を守って走行中



環境省 「除染と中間貯蔵施設に関するお問い合わせ窓口」  
 フリーダイヤル: 0120-027-582 (受付時間 9:30～18:15 ※日・祝日除く)



# 除去土壌等の輸送に当たっての主な安全対策

## 1 輸送対象物と輸送車両の一元的な管理

- 輸送対象物（除去土壌等を入れた全ての大型土のう袋等）に内容物や重量などが分かるタグ（札）を付け、全数管理します。
- 輸送車両の状況はGPS※で常時把握し、万が一問題が生じた場合もすぐに対応できるようにします。  
※GPS：数個の衛星からの信号を受信機で受け取り、受信者が現在位置を知るシステム。
- 上記情報を環境省と環境省の委託業者（JESCO※）が一元的に管理し、安全な輸送を行います。  
※JESCO：中間貯蔵・環境安全事業株式会社（政府全額出資の特殊会社）



〈除去土壌等の輸送車両の走行状況〉

## 2 除去土壌等の流出防止対策

- 除去土壌等は遮水性を有する大型土のう袋等に入れて輸送します。
- 大型土のう袋に破損等が確認された場合は新しい大型土のう袋に詰込みます。
- 輸送車両の荷台をシートで覆うことなどにより飛散を防止します。



## 3 運転者等の教育

- 輸送作業に従事する前に、輸送車両の運転者等に対して教育や研修を行い、本事業の重要性や放射性物質に汚染された土壌等を扱うに当たっての意識と技能等を高めます。



## 4 輸送ルート上の道路交通対策

- 輸送ルート上に狭い道路や注意が必要な場所があれば、交通誘導員の配置や、注意喚起の看板の設置を行います。
- 輸送車両は、常に一般車両や一時帰宅者に配慮して、事故防止を徹底します。



## 5 中間貯蔵施設敷地内におけるスクリーニング

- 輸送車両が中間貯蔵施設敷地内から退出する前には放射線量を測定（スクリーニング）し、基準値以上であれば洗浄等を行うことにより、周辺道路等の汚染の防止を徹底します。



## 6 PAの専用の駐車マスで休憩

- 輸送の安全性を確保するため、長時間の運転となる場合には運転者は休憩※することとしています。  
※磐越自動車道三春PA（上り）・差塩PA（上り）、常磐自動車道ならばPA（下り）は輸送車両の往路として一部利用します。差塩PA（下り）及びならばPA（上り）は復路の休憩場所として一部利用します（緊急時には、上記以外のPA等で駐車することがあります）。
- 輸送車両が利用する時間帯は、誘導員を配置します。  
（参考）これまでの輸送において、ならばPA及び差塩PAの専用駐車マス周辺で空間線量率を測定したところ、輸送車両の有無で有意な差はありませんでした。



環境省 「除染と中間貯蔵施設に関するお問い合わせ窓口」

フリーダイヤル： 0120-027-582 （受付時間 9：30～18：15 ※日・祝日除く）